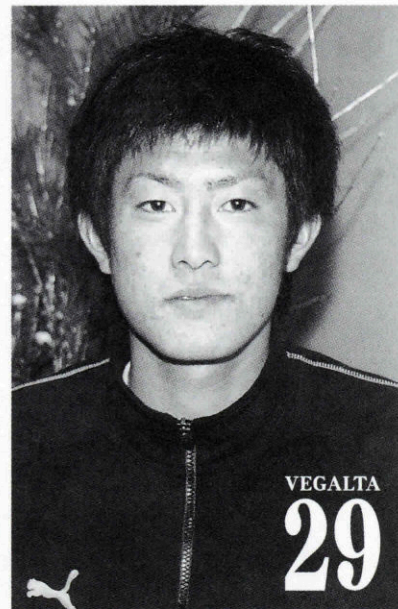


ながとじん 長門人



長門産Jリーグ誕生

「ちよつと小耳に」

中原貴之さん

なかはら たかゆき／昭和59年生／山口市在住
湊1東区出身／多々良学園高校3年

1月21日、長門市出身で多々良学園高校サッカー部フォワードの中原貴之さんが、Jリーグのベガルタ仙台と契約し、入団と背番号29番が発表されました。

中原さんは、181cm 74kgの恵まれた体格を活かしたハイポジションでの競り合いの強さとドリブル突破力、左右両足からのシユートの決定力が持ち味で、昨年8月の高校総体ではチームのベスト4とともに最多の8得点を挙げ優秀選手に、全日本ユースU-18でもベスト4入りに貢献。正月の全国選手権大会では2回戦で惜しくも敗退したものの、2ゴールを挙げた活躍と潜在能力の高さが大きく評価され優秀選手に選出されました。

深川小4年のとき、兄の健司さんの影響でスポ少に入りサッカー



を始めたが、県職員の父親の転勤により、翌年から一家で山口市に転出。両親の実家（父・道夫さんは湊1東区、母、郁恵さんは青海区）のある長門市には時々帰ってきているという。

「目標にされる選手を目指して、まずはチームに早くとけ込み、一日も早く試合に出場できるように頑張ります。長門市の皆さん応援してください」と話してくれました。

素敵なお話しをお届けします

—仲間たち—



読み聞かせボランティア 「おはなしポケット」

古田 勘一さん（藤中区）
連絡先 市立図書館 ☎26-5123

幼い頃、両親や幼稚園の先生に読み聞かせをしてもらった絵本や紙芝居、大人になった今でも絵本が好きな仲間が集まった「おはなしポケット」です。7月～10月まで計6回、長門市立図書館で、読み聞かせボランティア養成講座を受け10月16日に東深川保育園で初舞台を経験しました。

「今の殺伐とした社会の中で絵本の読み聞かせ、紙芝居を通じて、感性豊かな子どもになって欲しい」という思いで、11月から、市内の幼稚園・保育園・小学校を中心に読み聞かせの出前サービスを行っています。

子どもたちの真剣な眼差し、

笑顔がとっても素敵です。感性豊かな子どもたちの「ありがとう」に励まされ、メンバー全員で、これからも努力していきたいと思えます。

